

話題のiモードに強敵出現

これまで、関西や九州で展開してきたcdmaOne方式の携帯電話サービスが、4月14日から全国で使えるようになった。それと同時に、DDIセルラーグループ各社とIDOでは、WAPサービスを開始した。今回は、注目のWAPサービスの概要をiモードとの相違点を中心に紹介しよう。

WAP サービスで進化する.....

Wireless Application Protocol



現在のところ、WAP対応の携帯電話機は、この1機種のみ「cdmaOne C201H」(日立製、標準セット価格45,200円)写真は原寸大。

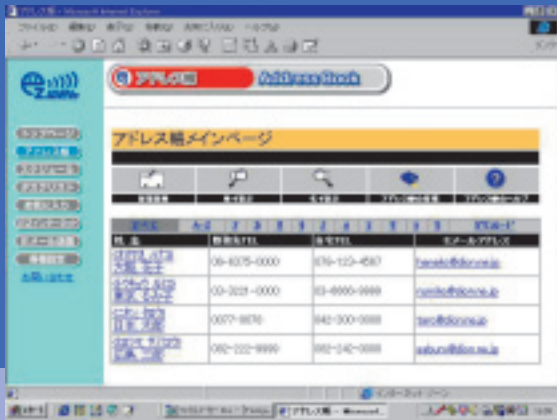
cdmaOne C201Hの仕様
外形寸法(W×H×D): 42×130×18mm
重量: 約82g
連続通話時間: 約120分
連続待ち受け時間: 約150時間

広末涼子のCMでも注目を集めるiモードのライバルが登場した。4月14日からDDIとIDOが開始したWAPサービスがそれだ。両社のサービスは、料金やメール容量など一部の仕様を除いて基本的にはまったく同じ内容だ。端末も共用できるため、お互いのサービスエリア内でも利用できる。

WAPとは、携帯電話機単体で電子メールやウェブ、ニュース配信サービスなどが利用できる

表1: WAPとiモードの相違点の比較表

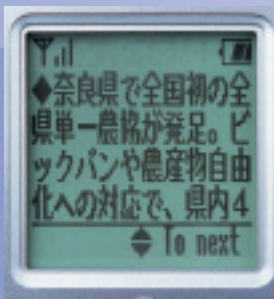
	WAP	iモード
通信方式	cdmaOne	PDC
メール送受信		
ウェブ閲覧		
オンラインバンキング	×(99年夏頃対応予定)	
PIM機能		×
メール送受信可能文字数	最大全角2000字(5kb)	最大全角250字(0.5kb)
メール受信方式	プル型(任意受信)	プッシュ型(自動受信)
メールアドレス	任意に設定可能	固定(電話番号=メールアドレス)
課金方式	時間課金	パケット課金
通信速度	14.4kbps	9600bps
対応コンテンツ記述言語	HDML	コンパクトHTML
サイズの大きなウェブの表示	1.2kbづつのコマ切れで表示可能	5kbを超える部分は表示されない



WAPでは、アドレスやスケジュールをウェブで管理し、出先では端末でチェックするといった使い方もできる。ノートやOutlookなどのPIMデータをWAP用に簡単に変換できる専用Intellisyncソフトもバンドルされる。



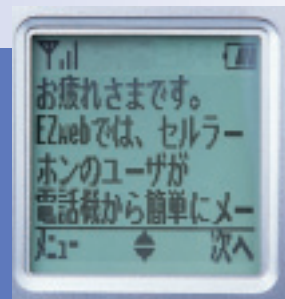
cdmaOne™



日経、毎日、朝日などの一般ニュースのほか、天気予報や宝くじの当選案内、芸能ニュース、スポーツニュースなどを見ることが出来る。



HDMLは国際標準のため、海外サイトの表示も可能。上図は、BloombergのWAP対応金融情報サイト。



WAPでは、メールは全角で2000字まで送受信できる。また、メールアドレスは「電話番号@xxx.ne.jp」ではなく、任意の文字列を使う。

サービス。基本機能は、ほぼiモードと同じと考えてよい。ただし、細かい点では相違点があるため、左ページの比較表にまとめてみた(表1)。

ここで、注目したいのはWAPのみが使えるPIM機能だ。これは、ウェブを使って編集したアドレス帳やスケジュール帳をWAP対応端末で見ることが出来るというもの。端末からウェブに書き込むこともできる。共有もできるので、グループでのコラボレーションにも使える。

そうしたメリットがある一方、WAP対応のコンテンツは、iモードより少々見劣りする。1つには、オンラインバンキングやチケット予約といった取り引き系のコンテンツがないことが要因として挙げられる。ただし、これについては今夏をめどに対応する予定だという。

2つ目は記述言語の問題だ。両サービスとも、HTMLで書かれた通常のウェブを表示できるが、容量制限やレイアウトの問題で、実際に携帯電

話で見やすいコンテンツを作るには、それぞれに対応した専用ページを作る必要がある。iモード用のコンテンツはHTMLのサブセット版であるコンパクトHTMLで記述されるため、比較的容易に専用ページが作れる。これに対して、WAPでは携帯端末専用のHDMLで記述されるため、専用ページを作るには、HTMLとは仕様の異なるHDMLで書き直さねばならず、多少手間がかかる。また、現在のところ、HDMLコンテンツを公開できるプロバイダーはDIONしかないといった制限もある。

それでは端的にいうと、WAP対応端末は、いま買いかどうか? cdmaOneは、今年末には64kbps(下りのみ)でのパケット通信サービスの開始を予定している。ただし、それは現在の端末では利用できない。機器の買い直し嫌だという人は、年末まで待つのが正解だろう。しかし、単にインターネット機能だけでなく、音質がよくて切れにくいといったcdmaOneの通話性能も考えるならば、今買っても後悔することのない、魅力的なサービスだといえる。

表2: DDIセルラーとIDOのサービス内容の違い

	DDIセルラー	IDO
名称	EZweb	EZaccess
URL	http://www.ddi.co.jp/cellular/ezweb/wap.html	http://www.ido.co.jp/cdmaone/
月額料金	300円	200円
PIM利用料金	100円	200円
通信料	10円/30秒	10円/分
メール受信箱	最大100件30日間保存	最大200件7日間保存
メール保存箱	最大100件期間無制限	最大100件14日間保存
専用コンテンツ数	23社59サイト	15社83サイト
アドレス登録件数	最大1000件	最大500件
スケジュール登録件数	最大1000件	最大500件

* IDOは、6月末まではPIM利用料も含めてWAPサービスの月額料金が無料。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp